

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	『いま始めよう！アクティブラーニング—初級中国語—』 陳淑梅 張国璐著（朝日出版社）
補助教材等	辞書：『はじめての中国語学習辞典』（相原茂 著 朝日出版社）
学習上の留意点	
<p>初めて学ぶ言葉なので、週に一度、授業時に教科書を開くだけでは自分のものにできない。せっかく学ぶからにはきちんとマスターして欲しいので、家庭学習を重視していく。授業時にやったことをすぐに練習する、という形で進め、より多く元気に口に出し発音し、より多くの問題をこなし、中国語の発想に慣れていってもらおう。</p> <p>教科書購入は必須。テキストやプリントなど授業時に必要なものを忘れては、中国語以外の事をやっているとなると減点の対象になるので、集中して授業に臨んで欲しい。</p> <p>なお、「達成度評価」の「その他」は練習問題や発音の出来を言うので、定期試験だけでなくふだんの学ぶ姿勢も評価の対象とする。授業時にしっかりやっていたら問題ないレベルの出題で試験を実施するので再試はしない。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>ほとんどの学生にとって初めて学ぶ言葉になると思うが、最初が肝心ある。中国語学習の世界には「発音よければ、半ばよし」という言葉もあるくらいである。「難しそう」というイメージもあるかと思うが、まずは中国語の1つ1つの音をマスターする事から始めるので心配せず、学び始めて欲しい。ただ、この作業は単純な発音のくり返しになるので、辛抱強く、元気に真剣にやらないとうまくできない。まずはここをクリアする事が第一歩なので、自分自身のやる気と根気が必須である。</p> <p>その後も地道に1つ1つの積み重ねが重要で、一気に上手くなることはない。</p> <p>皆が思っている以上に、就職しても、進学しても中国語を使うチャンスは多いと思われるし、コミュニケーション力を鍛える事は技術者としても社会人としても大切なことなので、一緒に中国語習得に向けてがんばっていこう。</p>	

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	・概説+B35:X42	・中国語とはどういうものかを説明でき、それを学ぶために必要な知識を習得する。	当該箇所の復習
2	・発音編 I	・声調と単母音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
3	・発音編 II	・単母音と子音正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
4	・発音編 III	・子音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
5	・発音編 IV	・子音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
6	・発音編 V	・複母音と鼻母音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
7	・発音編 VI	・鼻母音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
8	・中間試験	・中間まとめとして試験を実施する。	学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
9	・試験返却と解答解説 ・発音編 VII	・試験解説により、間違った箇所を確認する。 ・声調の変化と化と軽声を正しく発音できる。 ・あいさつ用語を発音でき、書ける。	当該箇所の復習
10	・第5課	・動詞「是」といろいろな疑問文を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
11	・第6課	・姓とフルネームの言い方と尋ね方が正しくできること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
12	・第7課	・動詞文と選択疑問文が正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
13	・第8課	・連動文と願望を表す助動詞「想」が正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
14	・第9課	・動詞「有」と「在」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
	期末試験		学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
15	・試験返却、解答解説 ・前期のまとめ	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・前期の学習事項のまとめを行う。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	・第10課	・数字、年月日曜日、時刻を正しく表現し、聞き取ることができること。	当該箇所の復習
17	・第10課	・助動詞「得」「要」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
18	・第11課	・形容詞述語文を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
19	・第12課	・お金や量詞を使った表現が正しくできること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
20	・第13課	・年齢を正しく表現できること。 ・前置詞「在」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
21	・第14課	・文末の「了」と動詞の重ね型を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
22	・第15課	・経験を表す「過」と比較を表す「比」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
23	・中間試験	・中間まとめとして試験を実施する。	学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
24	・第16課	・助動詞「会」と二重目的語を取る動詞を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
25	・第17課	・助動詞「可以」と副詞「有点儿」と名詞「一点儿」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
26	・第18課	・様態補語と時量補語を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
27	・第19課	・結果補語を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
28	・第20課	・「是～的」構文と禁止の「別」と「不要」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
29	・第21課	・方向補語と完了の「了」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
	期末試験		学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
30	・試験返却、解答解説 ・後期のまとめ ・授業改善アンケート	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・後期の学習事項のまとめを行う。 ・授業改善アンケートを実施する。	
総 学 習 時 間 数			90 時間
講 義			60 時間
自 学 自 習			30 時間